

様式第1号

平成30年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 日本共産党函館市議団

伝票番号

16

代表者	経理担当者	支出年月日	区分
(印)	(印)	平成 30年 6月4日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費
支払先			支払金額
三井住友トランス・パナソニックファイナンス株式会社			33,912円
摘要(品名)	数量	単価	金額
複合機パソコンリース代(6月分)	1		33,912円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないように留意)

領 収 証

2018年 6月 4日

日本共産党
函館市議会議員団

下記金額を正に領収しました。

領収金額 38,016 円

顧客番号	[REDACTED]
契約番号	[REDACTED]
商品名	複合機 地商品有
取扱店	株式会社函館ビジネスセンター (コード) (OA4401)

三井住友トラストパナソニックファイナンス株式会社

東京都港区芝浦一丁目2番3号
経理事務センター
〒 540-0001
大阪市中央区城見1丁目
3-7印紙税申告納
付につき芝
税務署承認済

TEL 06-7711-9556

※金額の訂正又は社印及び日付のないものは無効です。

2017年8月から議員が2名に
なったためパソコン1台分の
4,104円を引く

様式第2号

平成30年度

政務活動費支出伝票(旅費)

会派名 日本共産党函館市議団

伝票番号

17

旅行承認年月日	代表者	経理責任者	支払年月日	区分
2018年5月9日	(市 戸)	(紺 谷)	平成30年6月12日	・調査研究費 ・研修費
	氏名	金額	受領印	受領年月日
1	市戸ゆたか	65,300円	(市 戸)	平成30年6月12日
2	紺谷 克孝	65,300円	(紺 谷)	平成30年6月12日
3				
4				
5				
支払金額合計		130,600円		

旅行の目的

学童保育の歴史・現状・今後について 学会に出席して研修のため

用務地 東京都日野市

旅行の行程		旅費の内訳(1人当たり)	
6/23	函館→東京 (飛行機)	路線バス、私鉄	
6/24	東京→函館 (新幹線)	J R	
		航空賃	
		日 当	6,000円
		宿泊費	
		参加費	4,000円
		その他	55,300円
		合 計	65,300円

領 収 証

No. 411

時刻表正午前後

30612

*11060
但 ハーフボトル代金
6/23 14:30~立川
上記料金を支拂ふ
1泊2日で立川



内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

ワイングラス
函館市本通1丁目51-4 TEL(0120)33-1111

コクヨ フケー 1036

日野市2ホテルかとれなかんため、立川市2宿泊。

ご搭乗案内
BOARDING INFORMATION

仔ハユタカ様

行先 DESTINATION

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

便名 FLIGHT ADO

搭乗日 DATE

2018年 6月23日

58

座席
SEAT 16C

照会番号 789M0F01

携帯電話の電源はお早めにお切りください。

DV3CX

BP BWR7JK

BN 90

ご搭乗案内
BOARDING INFORMATION

コンタニヨシタカ様

行先 DESTINATION

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

便名 FLIGHT ADO

搭乗日 DATE

2018年 6月23日

58

座席
SEAT 17C

照会番号 J88Z0401

携帯電話の電源はお早めにお切りください。

DV3CX

BP B3ENQ7

BN 98

日本学童光函館市議会

領収書

市戸 伸介 先生

金額 4,000 円

内訳 大会参加費 1,000 円・3,000 円・4,000 円

懇親会費 2,000 円・4,000 円

弁当代 (24 日) 900 円

上記金額を確かに領収しました。

日本学童保育学会第 9 回研究大会実行委員長

垣内国光



日本学童光函館市議会

領収書

緑谷 元子 先生

金額 4,000 円

内訳 大会参加費 1,000 円・3,000 円・4,000 円

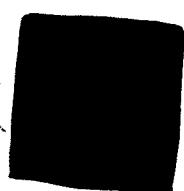
懇親会費 2,000 円・4,000 円

弁当代 (24 日) 900 円

上記金額を確かに收しました。

日本学童保育学会 9 回研究大会実行委員長

垣内国光



別記第3号様式

出張報告書

2018年6月27日

市戸 ゆか 様

出張者氏名 市戸 ゆか (市戸)

下記のとおり出張したので報告します。

記

1 出張期間	2018年6月23日～2018年6月24日(2日間)
2 用務地	① 6月23日 東京都日野市・町
	② 月 日 市・町
	③ 月 日 市・町
	④ 月 日 市・町
3 出張概要	日本学童保育協会 第9回研究大会に参加
4 所見	別紙
備考	

出張報告書

- 出張期間 2018年6月23日(土)～24日(日)
- 出張用務地 東京都日野市 明星大学
- 出張概要 日本学童保育学会へ参加し研究の内容を学ぶため
- 所見

第一日目は、課題研究ということで「学童保育の源流を探る」一地域のなかで学童保育とは何かを問うー報告者は、静岡大学・石原剛志氏、前早稲田大学・増山均氏、日本学童保育士協会・前田美子、司会は中国学園大学・佐野好久氏。

石原氏は、放課後児童クラブは、歴史的には昭和30年代初頭から母親の就労の増加に伴い保護者が家庭にいない子どもの豊かで安全安心な生活保障が社会問題となり、全国に広がってきた。戦前、戦時下、戦後の歴史に対しては資料が未整理で様々な課題がある。そして、日本学童保育学会の成立を期に、日本の学童保育の歴史研究が始まったという段階。各地の・各団体の運動資料については学会から、改めて保存のあり方、整理を検討していく必要がある。運動の理論化が必要という報告があった。

増山教授は、学童保育には三つの顔が必要①家庭の代替(福祉)②放課後の学習(教育)③子どもの文化(文化)。この分野を指導員が担っていくという点では、「新しい子育て」のあり方として学童保育の価値を解き明かしていくが重要と報告。

日本学童保育士協会前田氏は、「学童保育とは何か」学童保育の源流を探るという視点での中で戦後の大阪における運動の流れについても報告があった。1958年の大阪セツルメント協議会が発足し、1969年大阪市の留守家庭対策事業に対し、民間学童保育への補助金が予算化されたが公の責任での学童保育の実施を要求。父母たちとの信頼関係も深まり、共同学童保育所という形で広がってきた。今、働く女性が増え続ける中で学童保育が必要、そして学童保育で6年間通い続けて成長する子どもたちの姿をみて指導員も変わる、そして、子どもの発達を担う新しい専門職としての指導員のあり方など一層探求していくことにより希望が見えてくるという報告があった。

二日目は、自由研究Ⅲの分科会に参加。学童保育とインクルージョンというテーマで、5人の発表があった。石巻専修大学、佐藤正恵氏の報告は、放課後児童クラブ支援員の悩みについて調査を行っている。宮城県内24,560人、468か所。約45%が仙台市に集中している。大規模化の傾向。運営形態は仙台市では指定管理者が81%、仙台市以外は公営で54%。開設場所は仙台市では児童館内が60%、それ以外は児童館、余裕教室、専用施設などが約26%となっている。

指導員の悩みについて仙台市は①不安定な雇用②子どもが多すぎて目が行き届かない③屋外の遊び場がないなど。仙台市以外では①発達的に気になる子どもの対応②高学

年児童への対応③専門的なアドバイスがないなど、大規模な学童保育との違いが浮き彫りとなった。まとめの中では、仙台市の支援員の特徴で、大規模化を背景とした劣悪なクラブ環境や処遇、発達障害児や気になる子どもへの対応に関する悩みが大きいなど分析されている。又、フロアーからの意見として指定管理者としての補助員的な雇用となっており不安定雇用につながっているのではないかなど指摘があった。

今回、日本学童保育学会が第9回研究大会を迎えていたが、自分自身は初めて参加をした。全国から学童保育の研究をしている大学教授や、全国の学童保育所で日夜奮闘している指導員の現場の声などを聞くことができ深く感銘を受けた。

函館市の学童保育については、この16年間、何度も議会で取り上げ、放課後の子どもたちの居場所の環境整備や指導員の処遇改善を求める議論してきた。函館市の学童保育の課題は、学童保育料の高さ、老朽化した建物、指導員の処遇改善である。少しづつ改善はされてはいるものの、抜本的な改善にはつながっていない。子どもの数が減ってきているにも関わらず、学童に通所している子どもの数は増え続けています。共働きやひとり親家庭が増えている現象です。

今後も、子どもたちが安心して放課後を過ごせるよう、共働きの親たちが安心して働き続けられるよう、又、指導員が安心して生きがいを持ち働き続けられるような学童保育を目指して、議会での議論を尽くしていきたい。

出張報告書

2018年6月27日

市戸ゆたか 様

出張者氏名 甜谷克厚



下記のとおり出張したので報告します。

記

1 出張期間	2018年6月23日～ 2018年6月24日(2日間)	
2 用務地	① 6月23日	東京都日野市・町
	② 月 日	市・町
	③ 月 日	市・町
	④ 月 日	市・町
3 出張概要	日本学童保育学会 第9回研究大会に参加	
4 所見	別紙	
備考		

所見

23日1日目の基調報告は、－学童保育の源流を探る－をテーマに3人の研究者が報告しました。

『報告1』「日本の学童保育史研究の現状と課題」静岡大学の石原剛志氏

『報告2』「学童保育の源流を探る－帝大セツルメントなどの戦前の取り組みについて」早稲田大学の増山 均氏

『報告3』「大阪における学童保育づくり運動の成立と発展」－共同学童保育の思想と実践
一前田 美子氏 日本学童保育士教会

の3人が報告しました。

『報告1』の石原報告

学童保育は昭和30年代初頭から母親の就労の増加に伴って、放課後保護者が、家庭にいない子どもの豊かで安全・安心な生活保障が社会問題として取り上げられるようなり、「学童保育」として、保護者等の自主運営や市町村の単独補助による事業として、全国的に広がり始めました。

その後日本学童保育学会が2009年に準備会を立ち上げるに当たっての呼びかけ文では、指導員集団や地方自治体から、学童保育を対象とする学問的な研究の必要性が強く求められるようになってきたが、既存の学会では十分でなく、歴史研究、国際比較研究の蓄積が乏しい理論化も手付かずのままになっていたことから、2011年に立ち上げられたとの報告がありました。

学童保育の歴史も比較的浅く、学会の出発も8年ほど前とまだ研究が十分な到達に達していない感じがしました。したがって今後の研究課題も多くあるのではと思います。

『報告2』の増山報告

学童保育の源流を戦前までさかのぼると、大正から昭和かけて、保育所、母子寮、セツルメントなどで取り組まれ始めたが、様々な名称・呼称もあり今後の研究課題ともなっているとのことです。学童そのものの源流、歴史については、まだ十分研究されていなく未開拓の分野だということを感じました。

『報告3』前田報告

特徴的には、大阪市の学童保育推進協議会が、私立保育園連盟、市PTA協議会、市教職員組合、母親大会連絡会、未亡人連合会、市社会福祉協議会を中心に1967年（昭和42年）3月に結成され、目標として

- 1) 公費による学童保育所の設置および運営の具体化
- 2) 指導員の身分保障
- 3) 学童保育所づくりの援助と協力
- 4) 学童保育の啓蒙普及を積極的に図る
- 5) 保護者・指導員の相互の研究・連絡を図る

大阪市から具体的に補助金が2回にわたり予算化されたという報告を聞き、函館市などと

比べて、50 年以上前から先進的な活動があったことを知り、その教訓を生かす必要性を感じた。

2 日目は自由研究 1 放課後自動詞延引の要請と研修に参加しました。

当初から身分保障が十分でない学童の指導員になった経過や決意、子どもたちの豊かな放課後を保障していくかけがえのない仕事だと自覚し、仕事を始めた経験。（大阪市）

実践者と研究者が協働して実践研究を取り組み、さらに動画記録による事例検討を定期的継続的に取り組んでいる内容が報告され、児童一人ひとりにどうかかわっていくかがよく研究されていることなどが参考となりました。【岡山市】

Japanese Research Association of After School Care

日本学童保育学会 第9回研究大会

ご参加を心からお待ちしております

大学も現場も新年度でお忙しいことと存じます。第9回日本学童保育学会実行委員長の垣内国光です。今大会は、東京多摩地域にある明星大学で開催されます。私事ですが、大学退職直後に学会実行委員長を務めるという幸運（不運？）に恵まれ、張り切っているところです。

大学内会員のほか東京、埼玉、神奈川の会員等 10 数名で現地実行委員会を構成し、全国から皆さまをお迎えできるよう鋭意準備をすすめています。会場となります明星大学は東京駅からおよそ1時間強かかりますが、眺望がすぐれ綺麗なキャンパスをもった大学です。多摩モノレール駅に直結し近隣にはホテルも多くありますので、快適にお過ごしいただけると思います。もう一泊していただいて、ケーブルカーで高尾山に登っていただくのも一興かと存じます。また、懇親会では美味しい食事お酒（新潟の銘酒など）を用意いたします。存分に交流していただき研究の疲れを癒やしていただけだと思います。

どうぞ、6月23日24日の日本学童保育学会第9回大会にお越し下さい。実行委員会一同、心より皆さまのご参加をお待ち申し上げております。

第9回学童保育学会大会実行委員長
垣内 国光（明星大学元教授）

■日 時：2018年6月23日（土）13時30分

・24日（日） 9時00分

■会 場：明星大学 日野キャンパス

（〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1）

■日 程

6月23日(土) [第1日目]

12:40から 受付

13:30 16:00

課題研究1 学童保育の源流を探る

—歴史に学び、地域のなかで学童保育とは何かを問う

【趣旨】

日本学童保育学会が課題研究として一貫して取り組んできたのは「学童保育とは何か」というテーマでした。今回は、このテーマに、本学会としてはじめて歴史的にアプローチをしていきます。

日本における学童保育の起点をどこに求めるか。戦前からの歴史をひもとこうとしても、研究の蓄積は少なく、定説もありません。戦前、都市のスラムで取り組まれたセツルメントは、働く親の子を含んで地域の子どもたちの遊びや学習に取り組んでいました。それは「学童保育」とは呼ばれなかったとしても<学童保育の源流>として捉えることができるのではないかという仮説も成り立ちます。実際、戦後大阪において先駆的に学童保育を担った多くの施設は、戦前におけるセツルメントの流れを汲むものでした。

さらに、1960年代の後半、学童保育づくり運動が都市において展開されるようになっていく時期は、自家用車やテレビが普及していく時期でもあり、学童保育に限らず地域における子どもの遊び(場)のありようが問われるようになった時期でもありました。

このように、学童保育とは何か、学童保育の対象・目的・内容はどうあるべきか、という問題は、地域における子どもの遊びや生活との関連で、歴史的に問う課題でもあると思われます。今回は、3つの報告とともに、1960年代半ば、都市で変貌する子どもの遊び場を記録した映画を検討素材として、議論していきます。

【報告者】

基調報告 石原 剛志 (静岡大学教授)

「日本の学童保育史研究の現状と課題」

報告者1 増山 均 (前早稲田大学教授)

「学童保育の源流を探る—帝大セツルメントなどの戦前の取り組みについて」

報告者2 前田 美子 (日本学童保育士協会)

「大阪における学童保育づくり運動の成立と発展—共同学童保育の思想と実践」

司 会 住野 好久 (中国学園大学副学長)

【映画】 「遊び場のない子どもたち」(39分、1964年、桜映画社)

——車社会到来により、遊び場を奪われた都会の子どもたちが、逞しくもエネルギーッシュに遊ぶ様子など」(作品カタログより)を描いた記録映画「遊び場のない子どもたち」。この映画のなかでは、東京における草創期の学童保育づくりの実践として知られる「みどり会」(板橋区)での子どもの様子も映し出されます。高度成長期、地域における子どもの遊びの様子と始まったばかりの学童保育づくりに光をあてて見たいと思います。

16:15 17:30 総会

18:00 19:30 懇親会

6月24日(日) [第2日目]

9:00 12:00 自由研究発表

- ・一つの発表当たりの発表時間は、個人研究（発表20分、討議10分）、共同研究（発表30分、討議15分）を予定しています。
- ・発表希望者は、後述する「自由研究発表申し込み方法」をご覧下さい。
- ・分科会は、自由研究発表の申し込みテーマ・数をふまえ、実行委員会にて設定します。

13:00 15:30

課題研究2 インクルーシブ教育と学童保育実践

【趣旨】

今年度の学童保育学会誌の特集テーマ2では、「特別なニーズを持つ子どもと学童保育」を取り上げた。

今日、未診断の子どもを含めると、ほとんどの学童保育には、発達障害や知的障害、その他の障害を持つ子どもが複数在籍しているのがフツーの状況になっている。

障害者基本法第16条では、「可能な限り障害者である児童及び生徒が障害者でない児童及び生徒と共に教育を受けられるよう配慮すること」とされている。その意味では、たとえ学校教育の場では特別支援学校に措置されている子どもであっても、放課後の生活の場である学童保育では「可能な限り、障害者でない児童及び生徒と一緒に生活する権利」を保障していくことは障害者基本法の理念にも合致するものであろう。

しかし、その一方で、障害者権利条約第24条には「障害のある人がその人格、才能、創造力並びに精神的及び身体的な能力を最大限度まで発達させること」が目標として挙げられている。可能な限り同じ教育の場で学習を受けられるように配慮していくことと、障害を持つ子どもの最大限の発達を保障していくこと、この二つを統一的に実現していくことは容易な課題ではない。

また、インクルーシブ教育においては、学習者の差異や多様性は教授・学習上の『問題』としてではなく、学習を豊かにする機会として捉えるべきものとされている。(荒川智 2014) 子どもたちの差異や多様性が学習を豊かにする機会となるような教育実践が要請されているのである。

もちろん、これは第一義的には学校教育の課題ではあるが、学童保育という生活の場も、広い意味では子どもたちの「学びの場」であるだけに、障害をもつ子どもの存在が、学童保育の生活全体を通した子どもたちの学びの豊かさ、お互いの成長を実現できるような「集団づくり」が課題になってくると考えられる。

しかし、保育条件が恵まれていない学童保育では、障害を持つ子どもを受け入れることは大きな重荷になり、適切な支援が行えないなかで、子どもたち同士の関係も学び合いの関係ではなく、敵対的、排除的な関係になってしまう場合もしばしばである。また、障害児加配の制度がなかつたり、あっても、労働条件の悪さから募集しても人が来てくれないと困難な状況も存在している。

さらに言えば、自閉症スペクトラム障害などの発達障害の子どもを理解し、適切な支援につなげていくためには高い専門性が指導員には求められるが、そのような専門性は「放課後児童クラブ支援員」の認定資格研修などだけで培うことは不可能であり、学童保育に受け入れを求めるのであれば、障害を持つ子どもに関わる支援員研修の充実や支援体制の充実が必要不可欠であろう。

本課題研究では、学童保育実践での具体的な取り組みも報告してもらいつつ、そのような実践を進めていく上で大きな壁となる保育条件や職員の専門性の問題も浮き彫りにし、問題解決に向けての課題と方向性を探求していきたい。

様式第1号

平成30年度

政務活動費支出伝票(一般)

会派名 日本共産党函館市議団

伝票番号

18

代表者	経理担当者	支出年月日	区分
市戸	細田	平成 30年 6月23日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費 資料購入費 ・事務費
支払先			支払金額
日本学童保育学会			3,000円
摘要(品名)	数量	単価	金額
「学童保育」日本学童保育学会紀要第1巻	1	1,500円	1,500円
「学童保育」第8巻	1	1,500円	1,500円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないように留意)

日本共産党
函館市議団 様 領 収 証 NO. _____

★ ¥1,500 -

但し 学会誌代として
上記領収いたしました

日本学童保育学会
〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾町10
くらしき作陽大学子ども教育学部附属研究室
TEL 086-436-0270 FAX 086-233-3776
jimukyoku@gakudouhoikugakkai.com

日本共産党
函館市議団 様 領 収 証 NO. _____

★ ¥1,500 -

但し 学会誌代として
上記領収いたしました

日本学童保育学会
〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾町10
くらしき作陽大学子ども教育学部附属研究室
TEL 086-436-0270 FAX 086-233-3776
jimukyoku@gakudouhoikugakkai.com

様式第1号

平成30年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 日本共産党函館市議団

伝票番号 19

代表者	経理担当者	支出年月日	区分
(市 戸)	(絹 谷)	平成 30年 6月27日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費
支払先			支 払 金 額
(株) 函館ビジネスセンター			13,899円
摘要(品名)	数量	単価	金額
コピー機器料(6月分)	1		13,899円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないように留意)

領 収 証

2018年 6月 27日

日本共産党函館市議団様

印
紙金額 13,899
項目 コピー機器料 6月分

上記金額正に領収致しました

株式会社 函館ビジネスセンター

041-0851 函館市本通2丁目51番7号
TEL 0138-56-1919(代表)
FAX 0138-32-1766

様式第1号

平成30年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 日本共産党函館市議団

伝票番号 20

代表者	経理担当者	支出年月日	区分
市 戸	経	平成 30年 6月30日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費
支払先			支 払 金 額
函館 平和書店			1,148円
摘要(品名)	数量	単価	金額
社会保障(NO 478)	1		500円
食べ物通信(6月号)	1		648円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないように留意)

領 収 書

2018年6月20日

日本共産党
函館市議団 様

¥1,148-

上記のとおり領収いたしました。

但し本件

起票者



函館 平和書店

函館市日乃出町10-12
TEL 52-0801
FAX 54-3769

様式第1号

平成30年度

政務活動費支出伝票(一般)

会派名 日本共産党函館市議団

伝票番号 21

代表者	経理担当者	支出年月日	区分
(市戸)	(組合)	平成 30年 6月30日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費 資料購入費 ・事務費
支払先			支 払 金 額
(全生連)函館生活と健康を守る会 /			3, 100円
摘要(品名)	数量	単価	金 額
2017年、2018年度制度のあらまし /	1	3, 100円	3, 100円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないように留意)

【領収書等貼付欄】

領 収 証 No._____

日本共産党
函館市議団 様 2018年6月30日

★ 3,100,
但 2017年度 預り 延のあらまし。
上記並に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

〒040-0013

函館市千代台町15番24号

(全生連)函館生活と健康を守る会

電話 52-6015